

汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則解説

社団法人

日本ネットワークインフォメーションセンター

2000年12月4日

汎用JPドメイン名の構成

- TLDがJP
- SLDがASCIIラベルまた日本語ラベル
 - ASCIIラベル
 - 英数字とハイフン
 - 日本語ラベル
 - 漢字、仮名、一部記号、英数字とハイフン

日本語ラベルとして 使用可能文字等の条件

- 使用可能文字

- JIS X 0208-1990で規定された以下の文字

- 平仮名(4区)
 - 片仮名(5区)
 - 第一水準漢字(16区~47区)
 - 第二水準漢字(48区~84区)
 - 一部記号(1区)
「・」「\」「ゞ」「ゝ」「ゞ」「々」「ー」

- ASCIIの以下の文字

- 英字(A-Z)
 - 数字(0-9)
 - ハイフン(-)・・・ただし文字列の先頭または末尾は不可

日本語ラベルとして 使用可能文字等の条件

- 文字正規化
 - 表記もしくは意味的に同一の文字が異なる文字として区別されないよう統一する
 - 正規化された文字列を日本語ラベルとする
 - ルールは以下の通り
 - 英数字、マイナスはASCIIに統一する
 - 片仮名は全角に統一する
 - 濁点、半濁点は繰り込む
 - 英字の文字種(大文字小文字)は区別しない
 - RACE化はすべて小文字化してから行う
 - WHOISの表示はすべて大文字化してから行う

日本語ラベルとして 使用可能文字等の条件

- 使用可能文字数
 - 最小1文字、最大15文字
- 予約語
 - ACE識別子 (RACEのbq--など)を持つ文字列
 - 1世代前のACE識別子も予約語
- 予約ドメイン名
 - 別途定める

汎用JPドメインネームサーバ 設定に関する制限事項

- 正式運用開始までは、日本語ラベルと同等様式のラベルもつホスト名を以下の情報としては登録不可
 - ネームサーバ名
 - 担当者メールアドレス
- ACE識別子が変更されると到達性の確保が困難なため